

Chocolat 通信

2015年 1月号

今年も楽しく歌いましょう！

K'mio talks

「今やること」は今やる大切さ

早いもので、年が明けたと思ったら、もう一月も下旬になってきました。

私が最近心がけていることは、「口よりも先に手を動かす」ということです。

それは昨年、私自身も病気との闘いに明け暮れていましたが、いつまでも健康でいられて、やりたい事ができる、というのは「幻想」であって、そのための努力も、時には運命も必要、ということ身を以て学びました。

「今やること」は今やらないと、「いつかやろう」と思っているだけでは、そのままできなくなってしまうかも知れないのです。

そこで今年の私の目標は原点にかえり、「暗譜をする」ということを掲げました。

本番だけでなく、練習中から譜面を外して音楽に取り組む。それは昨年の自分を振り返って、「この曲を演奏するのは最後になるかもしれない」と本気で思えるようになってきたからです。

皆さんもぜひご自分で今年の目標を立て、取り組んでみてください。

(Noboru Kamio)

佐々木 団長の 断腸の思い

「譜読み」

初めての曲を全体練習でいきなり歌ってみても簡単に歌えるものではありませんね。そこで前もって「譜読み」をしておくことになりませんが、合唱での譜読みとはどういう事でしょうか？私も音楽をちゃんと勉強した人間ではないので、自分なりに調べてみたことを書こうと思います。

まずは ①楽譜を見る。[調性・拍子の確認、リズムの確認、記号・表記の確認]

次に ②自分で鍵盤楽器等でひいてみる、又は音源をきく。

③ドレミで歌う。[特に重要です、正しい音程を取るには不可欠]

④歌詞をリズム読みする。

⑤歌詞を歌う。[できれば鍵盤楽器を弾きながら、音域が高い場合は適度な音程に下げても良い]。

そして②から⑤を繰り返す。曲が体に入ったらあとは繰り返し練習し表現をつけていく。急がば回れでこの手順で練習すると結果的に早く曲が仕上がります。暗譜も早くできます。歳をとると暗譜ができないといいますが、手間をかけたリ繰り返すことにばかばかしさを感じるようになるからだそうです。

(佐々木 晋)



[たもぎの並木]

「風のうた」の「冬の風」に出てくる「たもぎの木」とは何だろう？とかねてから思っていたので調べてみました。

刈り取った稲を束にして掛けて、自然乾燥させるために使った木々で、田んぼのあぜ道に一行に植えられていたようです。越後地方の風景の象徴でもあるようです。木の種類は「とりねこ」と書かれていました。

パトリ真語

TENOR 佐々木 晋

他のパートが充実していく中で、テノールだけ取り残されてしまっているかのような気がしないでもありません。ボイトレの効果で全てのパートで声の方向性が近付き、ハーモニーが豊かになる場面も増えてきました。テノールも少ない人数でも存在感が示せるようにして行かなければいけませんね。曲によってはテノールが目立てる箇所もいくつかありますので思い切り目立ちたいものです。テノールに限りませんが曲が頭に入ったら早めに暗譜を始めていきたいものです。それには「断腸の思い」で書いた「譜読み」が大切です。努力を惜しまずに頑張らしましょう。

SOPRANO 阿部 紀世

今まで演奏会が終わってもう一度深めて歌ってみたいと思った曲がいくつかありました。今回「風のうた」はその良さがわかりかけてきました。金成さんの参加で力強さが倍加されました。合唱とは字の如く声を合わせることで。まずは隣りの人～ソプラノの人たち、そして周りのパートの声～と合わせて歌ってみましょう。リズムが難しく、形になってきてもその先の表現が大切です。ボイトレの時の注意点を思い出し大人の声で勇気を持って歌ってみましょう。やってみましょう。自分一人で歌うのではなく隣りの人～ソプラノの人たち、周りのパートの声～と合わせるが一番大切なことだと思います。

ALTO 佐々木 三葉子

アルトの皆様 この度、金成さんのソプラノ異動に伴いパトリを務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。今年も寒さに負けず暑さに負けず練習に励み、演奏会を迎えられますよう頑張りたいと思います。アルトはお二人のメンバーが休団中ですが、22日の練習から小澤さんがお仲間に入られ、現在5人となりました。地道に練習を重ねて行きましょう。そして今年は「パートの声」をより意識してまとまっていけたらいいですね。うまくハモっているかは一度ボイスレコーダーでの録音をおすすめします。赤司先生のクリアーなピアノ、神尾先生の爽やかなご指導、皆さんの笑い声付きで楽しく復習できます！

BASS 古川 智久

今年もよろしくお願ひいたします。次の演奏会まで少し時間はありますが、やる気を切らさずに練習していきましょう。いま取り組んでいる曲は、「風のうた」が正統派の曲、「ぜんぶここに」が現代的な曲、という感じですが、どちらの曲も、各パートが自分の役割をしっかりと果たすことで、形が見えてくる曲であると感じています。特に「ぜんぶここに」は自分のパートの音を取るだけでも難しい曲なので周りの動きが見えなくなりがちですが、曲全体の中での役割を考えながら歌うと歌いやすくなる部分があると思います。

あとは、先日の田辺先生のボイトレでお話のあった、表情についても意識していきたいですね。表情が固まらないほうが歌詞も伝わりやすいですし、神尾先生の指揮を見ることとあわせて、普段の練習から気をつけていきましょう。

☆通信担当より☆

2015年が始まりました。11月の演奏会に向けて、皆さんの目標は立ちましたか？それぞれの課題を考えていただくために、今月号は「パトリ真語」を掲載しました。気持ちも新たに合唱を楽しんでいきましょう。

パートの変動により、アルトのパトリを佐々木三葉子さんに引き受けていただきました。よろしくお願いいたします。

風邪をひきやすい季節になりました。うがいを忘れず喉を冷やさないように心がけましょうね。

訃報

ショコラの元団員
服部昭光さんが、昨年
9月に逝去されました。
心よりご冥福をお祈り申し上げます。